



猫ジジがジジイの時事評論をお届け

「6割」の議席が8割の国民を無視

戦争法はついに参議院で可決され成立した事になった。どの新聞の世論調査でも6割以上が「今決めることはない」とし、5割以上が戦争法に反対だったのに。

自公支持は元々少ない

「これだけ多数の国民の反対を押し切る感覚が不思議」と思う人は多いだろう。

昨年12月の衆院選挙の得票率を振り返ってみよう。比例代表で自民33%、公明13%。自公合わせても46%。小選挙区で自公は49%であった。

選挙の投票率は52%。結局、自民党を支持したのは有権者の17%。自公合わせても23%しかなかった。つまり、有権者の77%は自公を支持していなかったのだ。

一方議席は比例代表で52%、小選挙区で78%、全体で68%も獲得。

憲法改正はもつての外

衆院議席の三分の二以上を獲得したのだから、自公は憲法改正発議できた筈。でも、「国民の八割近くが自公を支持していなかった」から、国民投票で否決は自明の理。憲法改正はもつての外だった。

選挙法を改めなくては

「国民の支持は一部しかなくても大多数の議席を得られる」このからくりが安倍政権を支えている。各選挙区でトップしか当選しない小選挙区制を改めないと、安倍自公政権は国民無視の政治を傲慢な態度で続けられる。みなさんはどう思われますか？

多摩川調布堰 せき

東京都大田区



東横線で多摩川を渡ると、上流側に堰が見える。海水が上流に行かないようにと昭和の初めに造られた。ここで水を汲み上げ、近くの玉川浄水場に供給。大田区の水道になっていた。

しかし、一九六四年頃、大田区内の小中学生に、骨の一部に異常が生ずるカシンペック病が多い事が報告された。水道水の中の有機物が原因として疑われ、上水道に使うのは停止され、工業用水に回されている。

堰の魚道を通る魚を狙って鷺や鶉が沢山群れている。泳ぐのに飽きたのか鶉は羽を広げて乾かしていた。

堰には船が上下できるよう閘門がある。時折、モーターボートや棹をさして進む渡し舟が往き来しているとのこと。